

米工だより

山形県立米沢工業高等学校

平成24年5月31日第15号

発行 校長 大津 清

県高校総体で活躍を

いよいよ、6月1日（金）～3日（日）に第63回山形県高等学校総合体育大会が県内各地で開催されます。この大会は、インターハイにつながる大会です。3年生にとっては、この大会を目指して練習を積み重ねてきました。全力を尽くし、精一杯頑張ってください。一人でも多くの生徒が全国大会に出場することを祈っています。皆さんへ多くの方が期待を寄せています。先日の5月10日（木）にOBの匿名の方より手紙と激励金をいただきました。下記に紹介します。

山形県立米沢工業高等学校

校長 大津 清 様

新緑の候、米沢工業高等学校におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

わたくしも貴校を卒業してから、生徒諸君の諸活動を新聞やニュースで拝見し大変喜んでいるところです。機械科生徒の製作したSLや電気自動車、電気科生徒による有機EL栽培、ゼロエミッションプロジェクトなど生徒の活躍を大変喜んでおります。

また、創立115周年記念事業の井田先輩指揮による吹奏楽演奏を拝聴し大変感動を受けましたが、運動部の活躍が新聞やニュースで見る機会が少なくなっているように感じてました。

昨年、長井で開催された山形県高等学校駅伝大会で「古豪復活」の記事を見つけOBとして大変喜んでおりました。昨年の冬は例年になく雪が多く生活するにも大変苦勞しましたが、吹雪や厳寒中で駅伝部が走っている様子も数多く見て、何か役に立つことは無いか常に考えておりました。

また、早朝からの朝練習も一生懸命行っており素晴らしく感じております。駅伝部だけでなく、他部においても朝練習を行い実力をつけ、新聞やニュースで活躍する姿を拝見したいものです。

先の山形県縦断駅伝競走大会においても、東南・東置賜チームが悲願の優勝を果たしましたが、米工OBの活躍や現役生徒の力走も目の前で見ることができました。残念ながら十位の米沢チームも米工OBと現役生徒の諦めない力走に感動を受けました。今後は、米沢チームと南陽・東置賜チームの競い合うレースが見たいものです。

本来であれば直接学校に出向き、校長先生や駅伝部生徒に感動した話をすべきところですが書面で失礼させていただきます。

つきましては、今年十月開催の山形県高等学校駅伝競走大会での活躍を期待し、少しではありますが、生徒や顧問先生の夏休み合宿経費補助として全額を駅伝部に使っていただくように体育文化活動後援会長様に強化費をお渡しいたしましたのでご活用ください。全国大会出場を願っております。

平成24年5月

駅伝部古豪復活を願うOBより

天才？ そんなものは存在しない。勉強せよ。方法を考えよ。不断に実行せよ。

（ロダン、彫刻家）
ロダンは「近代彫刻の父」と称される。17歳の時に、国立美術学校を志すが3度受けて3度とも失敗している。非常に大きな挫折をしたが、その後、石工などの職につきながら独学で彫刻を学び、ようやく40歳のときに彫刻家として認められた。生涯を通じて、たゆまず研究と挑戦を行った人である。